

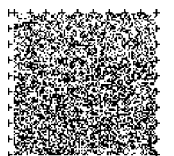
自立支援局だより

第35号 2017. 12発行

第38回 リハ並木祭

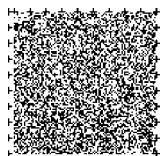
国リハと職リハの利用者の頑張りや職員への支援、そして地域の方々のお力添えで、第38回リハ並木祭を10月20日と21日の日程で開催することができました。今回は、朝からあいにくの雨模様にも関わらず、多くの来場者にお越しいただきました。「未来を描く、一人一人が虹の色」というテーマに、50を超える様々な企画が寄せられて、とても賑やかな催しとなりました。

国リハと職リハの利用者と職員からなる「リハ並木祭実行委員会」が5月下旬に組織され、日々の訓練の一環として、ポスターの作成から全体に関わる準備を積み重ね、「第38回リハ並木祭」を開催することができました。



本館のロビーでは、恒例の国リハコレクション 2017 のファッションショーが催され、大盛況でした。多彩な模擬店が並ぶグルメストリートでは、昼過ぎに完売するお店も出るほど、多くの人で賑わいました。また、訓練棟では、日々の訓練を紹介する展示ブースや、あんま体験コーナーの他、利用者お手製のスイーツを販売しているお店もあり、大人から子どもまで楽しむことができました。また、埼玉県のキャラクター「コバトン」が雰囲気をもたせ、講堂では、軽音楽や地域団体による津軽三味線、音楽療法を取り入れたコンサートや、コーラスを楽しんだ後、長年参加してくださっている東京サロンオーケストラの演奏で、リハ並木祭の最後を華やかに飾っていただきました。さらに、会場のあちらこちらで国リハと職リハの終了者が、職員や友人との再会を懐かしむ場面や、現役の利用者が、地域の方々との触れ合いに昂揚する場面が見受けられました。

まさに今回のテーマどおり「一人一人が虹の色」に輝く第 38 回リハ並木祭となりました。今後とも、未永くこのような催しが続きますように、また、行事を通じて、本センターの利用者が広く地域と繋がり、明るい「未来を描く」ことができますように、皆様のご支援とご協力を宜しく申し上げます。



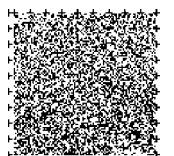
就労移行支援（養成） M.Sさん

先だっではリハ並木祭で東京サロンオーケストラの生オケの部に参加させて頂いて、大変に有り難く、又非常に光栄に想っている次第です。本当に楽しく夢のようなひとときを、サロンの皆様とご一緒させて頂き本当に有り難う御座いました。

一番前の特等席で素晴らしい音色を、五臓六腑で感じ取る事が出来、最高のご褒美を頂いて、天にも昇る気持ちで

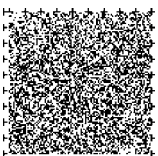
した。出来る事なら来年も又、参加して生オケの部で、今度はソコで歌って見たいな、と想っています。これから先も、東京サロンオーケストラのメンバー全員の方々が、無事故で健康で、毎年の演奏を、リハ並木祭に、途切れることなく出演して下さいを希望します。

演奏終了後にバイオリン奏者のめがねを掛けられた若い素敵な女性の方が、声を掛けて頂き、「私も昭和の歌が大好きで、とっても良かったですよ」の言葉かけをして頂き、大変に恐縮しながらも、嬉しく思いました。とても素晴らしい演奏を聴かせて頂きました。本当に有り難う御座いました。



自立訓練（視覚） 小島 泰さん

自立訓練のみんなで役割分担を決めて、各自が責任を持って取り組んだので、訓練紹介・模擬店共に大盛況に終わることができました。また、自立訓練の仲間が参加したサロンオーケストラ会場にも足を運び、とても感激しました。どれもはじめての経験であり、とても良い思い出になりました。欲を言えば体育祭にも参加してみたかったです。



自立訓練（生活） 岡 亘介さん

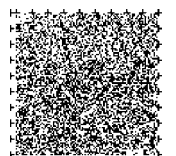
並木祭の当日の天気はあまり良くなかったですが、多くのお客様にきていただき、大変盛り上がりました。並木祭では、フランクフルトとラムネの販売をしました。

一番の思い出は、東京サロンオーケストラの方たちの演奏で沢田研二さんの「勝手にしやがれ」を歌ったことです。オーケストラをバックに歌うことはなかなかできることではないので、挑戦してよかったです。

かなり緊張しましたが、意外と好評でした。そしてカッコいいなんて賛辞は初めて受けました。度胸はすごいという感想もいただきうれしかったです。帽子を投げられたらもっとよかったです。



ほんとは、もっといろいろ見て回りたかったですが、サロンオーケストラに挑戦してよかったですと思います。自分でもよくやったなと思いました。フランクフルトもラムネも完売してよかったです。いい思い出になりました。



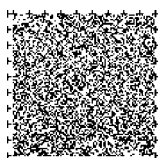
第1回球技大会（中玉サッカー）

肢体機能訓練では、9月28日（木）、29日（金）の2日間で第1体育館を利用し、第1回球技大会として中玉サッカー大会を開催しました。肢体機能訓練の利用者や職員の交流及びリフレッシュを目的に実施し、利用者38名、職員16名の計54名が参加しました。1チーム4～5名に分かれ、1日目は参加人数も多く、5チームによるトーナメント戦、2日目は人数が少なかつたため、3チームでの総当り戦を行いました。



中玉サッカーは、車椅子で行うサッカーで、ボールはバランスボールを使用します。1チーム4～5人で、前後半10分（ハーフタイム3分）を1試合として競技を行います。コートは体育館全面を使用し、ボールがゴールラインを超えたら得点になります。ボールコントロールは手、もしくは車椅子を使用したり、麻痺の程度によっては足を使用する利用者もいます。キーパーエリアにはキーパー以外は進入禁止となっており、その他にも車椅子バスケットボールのルールに準じて、車椅子の接触や手をたたく等はファウルとし、相手チームのPKとなります。

連続で試合を行うと体力が削られていくため、体力を温存して後半に力を発揮しようと試みていた利用者も、試合が始まるとついつい夢中になってしまい、全力で競技に挑む姿が見られました。どの試合も応援している方も見入ってしまうような熱戦となり、勝敗に関わらず全員が楽しみ、利用者や職員がスポーツを通じて交流することができました。最後は優勝チームを全員で讃えて、笑顔と拍手に包まれた温かい雰囲気の中で幕を閉じることができました。



臨床診察学

理療教育・就労支援部 理療教育課

臨床診察学は、鍼、灸、あん摩・マッサージ・指圧師がその施術を行うに当たって必要となる診察法の実際を学ぶ科目です。

具体的な学習内容としては、診察の進め方の一般（医療面接を含む問診・視診・打診・聴診・触診・神経系の検査の進め方）、筋・骨格系症状の診察（肩こり・頸肩腕痛・腰下肢痛・肩関節痛・膝関節痛の診察）、自律神経症状の診察（弛緩性便秘・局所性の冷えなど、日常遭遇しやすい症状の診察）等々です。

これらの知識と技術を総動員して、病態像の異なる様々な患者の診察に当たらなければならぬわけですので、かなりの総合力が必要となる科目といえます。従って、カリキュラム上では、専門課程においても高等課程においても最終年次に配当されています。

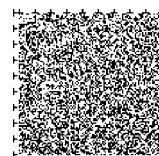
また、理療教育に所属している利用者は全員が視覚障害者です。その意味でも、視覚に障害のない施術者が目視で行う診察法と全て同様というわけにはいきません。

半面、視覚障害者ならではのアプローチの工夫のしがいもある科目ともいえます。

とりわけ、問診法と触診法は、「見えない、見えにくい」というハンディキャップを克服する鍵となる重要な診察法であると考えられます。

今年度、私が本科目を担当しているクラスの授業では、「見えない、見えにくい部分を頭と腕の良さでカバーして、優れた施術に直結した総合的な診察法を身に付けましょう」を合言葉に日々訓練を続けています。

文責：柴田 均一



利用者募集のご案内

当センターでは、下記のサービスの利用を希望する方を随時募集しています。
利用を希望される方は、総合相談課までお問い合わせください。

自立訓練（機能訓練）

主に視覚に障害のある方や頸髄損傷等による重度の肢体不自由の方が、地域や家庭、職場などで持てる力を最大限に生かし、より充実した社会生活を送れるよう支援します。

- 視覚に障害のある方：白杖使用による歩行訓練、日常生活訓練、コミュニケーション訓練など
- 頸髄損傷等による重度の肢体不自由の方：理学療法、作業療法、スポーツ訓練、職能訓練など

自立訓練（生活訓練）

主に高次脳機能障害のある方が、日常生活や社会生活に必要な手段を理解し、生活能力を高められるよう、個々の生活状況に応じて支援します。

- スケジュール管理、生活管理能力の向上、社会生活技能の向上、作業力の向上など

就労移行支援

就労が見込まれる主に身体に障害がある方に、企業への就職、また、復職に向けて、各種訓練や職場実習により、働くための力を付けることや就職活動を支援します。

- 職場体験訓練、技能習得訓練、職場実習、就職活動支援など

就労移行支援（養成施設）

視覚に障害のある方が、国家資格であるあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の受験資格を得るための職業教育を行い、これを活用し、就労することを支援します。

- 授業（講義、実技実習、臨床実習など）や就労マッチング支援など

※通所で上記サービスを利用することが困難な方には、施設入所支援（宿舍）を提供しておりますので、あわせてご相談ください。

<問い合わせ先> 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 総合相談課
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL：04-2995-3100（代表） FAX：04-2992-4525（直通）

E-mail：soudan@rehab.go.jp URL：http://www.rehab.go.jp/

※施設利用申込書（様式）は当センター
ホームページからダウンロードできます。

